

知の市場

— 理念と運営 —

人間は多様なリスクに曝される中で技術革新や制度改革そして人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活してきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしていくために社会と世界の現況に対する理解を深め幅広い教養を高めていくことが必須である。

社会の広範な領域において諸々の機関が人々の幅広い要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合し「化学・生物総合管理の再教育講座」は、急展開する技術革新と社会の広範な人々の認識の乖離を埋めるべく2004年度から2008年度までの5年間、総合的かつ実践的な学習の機会を提供し大きな成果を上げてきた。

この「化学・生物総合管理の再教育講座」の実績を発展的に継承しつつさらに視野を拡大して新たな展開を図るため、自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場(Voluntary Open Network Multiversity)として「知の市場(FMW: Free Market of • by • for Wisdom)」を構築する。

【理念】

「知の市場」は、「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して、人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場とする。

【基本方針】

1. 「知の市場」は、総合的な学習機会を提供するとともに実践的な学習機会を提供する。このため社会の広範な領域で活動を展開する機関が協力し、実社会で実践してきた多彩な講師によって開講する。
2. 「知の市場」は、科目、講師など開講に関する情報を十分に提供し、受講者が自己責任により自由に受講科目を選択することを基本とする。このため科目の内容や開講の実績などを事前に公開する。
3. 「知の市場」は、学生・院生を含む広範な分野の多様な社会人の受講を想定し、強い学習動機と積極的な参加意思を有する者を受講者とするを基本とする。
4. 「知の市場」は、科目(120分授業15回2単位相当)を一つの単位として開講し受講することを基本とし、大学・大学院に準拠した厳しい成績評価を行うことを原則とする。そして所定の成績を修めた受講者には受講修了証を発行する。
5. 「知の市場」は、諸々の大学・大学院が開講する科目を学生・院生の履修科目として位置づけ単位取得の対象とすることを奨励するとともに、社会人の修士号、博士号の取得に活用することを推奨する。また、社会人に対

して学校教育法に基づく履修証明書を発行することを勧奨する。

6. 「知の市場」は、開講機関や連携機関などが「知の市場」の活動を通して醸成した信頼関係をもとに、連携・協力関係を深化させ、教育において新たな活動を試みることを推奨し、支援する。

【運営体制】

1. 「知の市場」は、受講者、講師、友の会、開講機関、連携機関、連携学会、知の市場事務局などのそれぞれの活動によって構築する。
2. 受講者は、強い学習動機と積極的な参加意思を持って講義に参加し小論文などを提出しつつ自己研鑽に励むとともに、受講科目に関する調査や評価そして講座の運営などに自主的、自立的に協力することを通して「知の市場」に参画する。
3. 講師は、自立した個人として自らの経験や見識をもとに自律的に責任を持って講義を展開し受講者の学習意欲に応えることを通して「知の市場」に参画する。
4. 友の会は、「知の市場」の受講経験者と講師経験者などで構成し、「知の市場」に関する情報を共有するとともに調査や評価そして講座の運営などに自主的、自立的に協力することを通して「知の市場」に参画する。
5. 開講機関は、連携機関の支援を得つつ知の市場事務局と協力して自主的、自立的に公開講座を開講することによって「知の市場」に参画する。
6. 連携機関は、科目の構成、講師の配置、教材の作成など開講する科目を準備し講義の実施に自主的、自立的に取り組むことによって「知の市場」に参画する。
7. 連携学会は、「知の市場」に参画する受講者や講師に実社会に根ざした学術発表や論文投稿の機会を提供するとともに、自己研鑽と自己実現を深化するための場を提供することを通して「知の市場」に参画する。
8. 知の市場事務局は、関係者の意見交換を促進し共通認識を深める機会を設けるとともに、「知の市場」の規範を策定し、また調査・分析・提言を行いつつ共通課題に対処し、連携機関や開講機関の活動そして受講者や講師の活動などを支援することによって「知の市場」に参画する。
9. 「知の市場」は、共催講座や関連講座を主催する開講機関、科目を組織する連携機関、並びに知の市場事務局の代表及び議長によって構成する協議会を組織する。協議会は、「知の市場」の運営について審議し、円滑な実施のための連絡調整に資することによって「知の市場」に参画する。協議会の議長は会長として「知の市場」を代表する。
10. 「知の市場」は、外部の有識者、経験者などによって構成する評価委員会を組織する。評価委員会は、「知の市場」の実施状況および成果を大局的に検証し評価することによって「知の市場」に参画する。
11. 「知の市場」は、個人であると法人であるとを問わず、自発的意志により活動に参画する者或いは活動を支援する者を、協力者・協力機関と位置づけ歓迎する。

【体系と機能】

Free Market of · by · for Wisdom Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として
 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して
 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場

	友の会	連携学会	協力者・協力機関	協議会	知の市場事務局	評価委員会	
共 催 講 座	早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 前期4科目、後期3科目、計7科目開講				
	日本リスクマネジメントネットワーク 早稲田大学 規範科学総合研究所		大阪府環境農林水産総合研究所(JR森ノ宮駅) 前期1科目、後期2科目、計3科目開講				
	ナノテクノロジービジネス推進協議会 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講				
	主婦連合会 製品評価技術基盤機構 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講				
	食品薬品安全センター 主婦連合会 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講				
	農業生物資源研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所		主婦会館プラザエフ(JR中央線四ッ谷駅前) 後期1科目、計1科目開講				
	労働科学研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 前期1科目、後期3科目、計4科目開講				
	労働科学研究所		労働科学研究所(川崎市、小田急向ヶ丘遊園駅から徒歩) 後期1科目、計1科目開講				
	東京工業大学 社会人教育院		東京工業大学田町キャンパス(JR山手線 田町駅前) 前期3科目、後期1科目、計4科目開講				
	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター(増田研究室)		お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期2科目、後期2科目、計4科目開講				
	物質・材料研究機構		物質・材料研究機構東京会議室(東京メトロ虎ノ門駅、神谷町駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講				
	化学工学会SCE・Net		お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 後期2科目、計2科目開講				
	鳥取県動物臨床医学研究所		鳥取県動物臨床医学研究所(JR倉吉駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講				
	製品評価技術基盤機構 NPO法人関西消費者連合会		関西・八尾市立くらし学習館(婦人会館、近鉄 八尾駅) 後期1科目、計1科目開講				
	東北大学未来科学技術共同研究センター		東北大学未来科学技術共同研究センター(JR仙台駅から徒歩) 前期1科目、計1科目開講				
	放射線安全フォーラム		千代田御茶ノ水ビル(メトロ御茶ノ水駅) 後期1科目、計1科目開講				
	(産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科)		産業医科大学(北九州市 JR折尾駅から徒歩) (6科目:関連講座として開講。所定の1科目相当の修了者を共催講座修了者として認定)				
	I. 教養編	名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ		名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前) 3学期制、計3ユニット開催			
		名古屋市立大学 学びなおし支援センター		名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前) 1学期、2学期:各期5科目、計10科目開講			
	II. 専門編	産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科		産業医科大学(北九州市 JR折尾駅から徒歩) 前後期(集中講義):9ユニット開講			
明治大学 大学院理工学研究科新領域創造専攻 安全学研究所 リバティアカデミー		明治大学駿河台校舎リバティアワー(JR御茶ノ水駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
福山大学 社会連携研究推進センター		福山大学 宮地茂記念館(JR福山駅前) 通年:2科目開講					
III. 研修編	国際協力機構兵庫国際センター(JICA集団研修コース) : 環境安全のための化学物質のリスク管理と残留分析		JICA兵庫他、各地 1コース(19科目相当)開講				
	早稲田大学 理工学術院 先進理工学部		6ユニット開講				
IV. 大学・ 大学院編	早稲田大学 理工学術院 大学院先進理工学研究科		1ユニット開講				
	早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻		3科目開講				
	早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医学専攻		2科目開講				
	明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻		4科目開講				
	お茶の水女子大学		1ユニット、1科目開講				
	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科		1科目開講				
	東京工業大学 工学部 高分子工学科		1科目開講				
	東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻		1科目開講				
福山大学大学院 工学研究科生命工学専攻		2科目開講					

〔共催講座〕

1. 「知の市場」は、「知の市場」の理念と基本方針に沿いつつ「知の市場」の運営体制を踏まえて、連携機関の協力のもと開講機関の主催により共催講座を開講する。
2. 「知の市場」は、「化学・生物総合管理の再教育講座」の活動を発展的に継承し、新たに展開するものである。
3. 共催講座は、「化学・生物総合管理の再教育講座」の活動実績を踏まえて、当面、化学物質や生物の総合管理、医療や保健と動物医学、労働科学や社会情勢、社会変革と技術革新、コミュニケーションなどに関する領域で開講するが、時代の進展などに配慮しつつ適宜見直し進化する。

〔関連講座〕

1. 「知の市場」の活動の輪を広げるため、「化学・生物総合管理の再教育講座」や共催講座での経験を活かした活動、開講機関や連携機関が実施する活動、自己研鑽と自己実現に資する活動などであって「知の市場」の理念を共有する活動を関連講座として位置づける。
2. 関連講座は、「知の市場」の基本方針を念頭に置きつつも諸般の状況を踏まえて個々の主催者が自らの主体性と責任のもとで柔軟かつ弾力的に運営する。講座は講義回数などによってユニット、科目、コースに分類する。
3. 当面、教養編、専門編、研修編、大学・大学院編の4つの領域を設定する。

〔開講機関〕

1. 「知の市場」の理念を共有し、連携機関の支援を得つつ知の市場事務局と協力して、広報や受講者の募集、開講場所の確保、講義資料の準備などを行い、自主的、自立的に共催講座や関連講座を主催する機関を開講機関と位置づける。
2. 開講機関は、知の市場事務局と協力して、受講修了証や履修証明書などを発行する。
3. 開講機関は、知の市場事務局の支援を得つつ、「知の市場」を学生・院生の単位取得の対象とすることを推進し、また社会人の修士号や博士号の取得に活用することに努める。
4. 開講機関を添付表1に示す。

〔連携機関〕

1. 「知の市場」の理念を共有し、開講機関や知の市場事務局と協力して、「知の市場」の科目の構成、講師の配置、教材の作成など開講する科目を準備し講義の実施に自主的、自立的に取り組む機関を連携機関と位置づける。
2. 連携機関を添付表2に示す。

〔連携学会〕

1. 「知の市場」の理念を共有し、「知の市場」に参画する受講者や講師に実社会に根ざした学術発表や論文投稿の機会を提供するとともに自己研鑽と自己実現を深化するために研究会などの場を提供する学会を連携学会と位置づける。
2. 当面次の学会を連携学会とする。
 - 1)社会技術革新学会（詳細は <http://www.s-innovation.org/>を参照下さい。）
 - 2)化学生物総合管理学会（詳細は <http://www.cbims.net/>を参照下さい。）

〔知の市場事務局〕

1. 関係者の意見交換を促進し共通認識を深める機会を設けるとともに、「知の市場」の規範を策定しつつ広報などの共通課題に対処し、連携機関や開講機関の活動そして受講者や講師の活動などを支援する組織を知の市場事務局と位置づける。
2. 知の市場事務局は、開講機関や連携機関、受講者や講師などの協力を得て、知の市場の運営に係わる調査、科目構成や講義内容などの改善を図るための調査などを実施するとともに、分析、評価して必要な提言を行う。
3. 知の市場事務局は、知の市場の会長と密接な連携を保ちつつ活動する。
4. 当面、お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）内に知の市場事務局をおく。

〔協議会〕

1. 「知の市場」の運営について審議し、円滑な実施のための連絡調整の場として、共催講座や関連講座を主催する開講機関、科目を組織する連携機関、並びに知の市場事務局の代表及び議長を構成員とする協議会を設置する。
2. 協議会の議長は互選とし、協議会議長をもって知の市場の会長とする。
3. 協議会の構成員を添付表 3 に示す。

〔評価委員会〕

1. 「知の市場」の実施状況および成果を大局的に検証し評価する場として、外部の有識者、経験者などを構成員とする評価委員会を設置する。
2. 評価委員は個人の資格で評価委員会に参画し、個人としての見識に基づいて意見を述べる。
3. 評価委員会の構成員を添付表 4 に示す。

〔協力者・協力機関〕

1. 「知の市場」の理念を共有し、ホームページへの掲載やメール配信などによる広報、資金や開講場所の提供などの種々の方法によって、自発的意志に基づき「知の市場」の活動を支援する個人や機関を、協力者・協力機関と位置づける。
2. 協力者・協力機関の協力内容については、原則、情報を開示する。
3. 協力者・協力機関を添付表 5 に示す。

【沿革】

- 1980年代：社会構造変化と技術革新に関する調査を出版する。
- 1990年代：産業技術の歴史の継承と未来への創造、化学と地球環境、科学的方法論が先導する安全論議などに関する調査を出版する。
- 1998年度：「現の世界」に対して「知の世界」が存在感を増す「知の時代」が到来する中で「知の世界」の再構築が不可欠であることを提起する。
- 2000年度：実社会で実践してきた経験とともに大学・大学院などで教鞭をとった経験を有する有志が集い教育に関する論議を開始する。
- 2002年度：好奇心のための科学(Science for Curiosity)に対して社会のための科学(Science for Society)や政策のための科学(Science for Policy)そして規範のための科学(Regulatory Science)が世界の学界で論じられる新たな情勢を踏まえて、実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して活動を本格化する。
- 2003年度：「互学互教」、「社会学連携」、「知の市場」などの概念を創造し、社会に理念として提起する。
- 2003年度：理念を共有する有志を糾合し、実社会に根ざした教材の作成を本格的に開始する。
- 2003年度：時代の変化に即応しつつ体系的な講座を展開するため、科目の構成や講師の配置などに役割を果たす連携機関の概念を提起するとともに、連携機関を発掘し協力関係の構築を進める。
- 2004年度：実社会での実践的活動をもとにした学会発表や論文投稿を促進するため、化学生物総合管理学会を設立する。
- 2004年度：5年計画で「化学・生物総合管理の再教育講座」を開始する。
- 2006年度：「現場基点」の概念を提起し、「互学互教」、「社会学連携」、「知の市場」の概念に追加して理念を完成する。
- 2006年度：実社会での実践的活動をもとにした学会発表や論文投稿を促進するため社会技術革新学会を設立し、連携学会の体制を完成する。
- 2008年度：「化学・生物総合管理の再教育講座」の視野を拡大し新たな展開を図るため、「知の市場」の概念を中心に据え新展開を開始する。
- 2008年度：開講機関の概念を導入して運営体制を強化する。
- 2008年度：2004年度15科目、2005年度56科目、2006年度58科目、2007年度55科目、2008年度37科目を開講する。理念や基本方針が広く全国から支持され、46の開講機関や連携機関などの協力のもと1,731名の講師そして6,017名の応募者が参画して「化学・生物総合管理の再教育講座」の5年計画は高い評価を得る。
- 2009年度：「化学・生物総合管理の再教育講座」を発展的に継承しつつ、さらに視野を拡大して「知の市場」の新たな展開を本格化する。

添付表 1 2010 年度開講機関一覧

早稲田大学 規範科学総合研究所		http://www.waseda.jp/prj-iirs/
日本リスクマネジネットワーク	早稲田大学 学総合研究所との 共催で開講	http://www.jrmn.net/
ナノテクノロジービジネス推進協議会		http://www.nbci.jp
主婦連合会		http://www.shufuren.net/
製品評価技術基盤機構		http://www.nite.go.jp/
食品薬品安全センター		http://www.fdsc.or.jp/
主婦連合会		http://www.shufuren.net/
農業生物資源研究所		http://www.nias.affrc.go.jp/
労働科学研究所		http://www.isl.or.jp/
労働科学研究所		http://www.isl.or.jp/
東京工業大学 社会人教育院		
お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)		http://www.chinoichiba.org/masuda.html
物質・材料研究機構		http://www.nims.go.jp/
化学工学会SCE・Net		http://www.sce-net.jp/
鳥取県動物臨床医学研究所		http://www.dourinken.com/
製品評価技術基盤機構 NPO法人関西消費者連合会		http://www.nite.go.jp/ 工事中
東北大学未来科学技術共同研究センター		http://www.niche.tohoku.ac.jp/
放射線安全フォーラム		http://www.rsf.or.jp/index.htm
産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科		http://toppy.health.uoeh-u.ac.jp/ReEdu/index.html
名古屋市立大学大学院 医学研究科 (健康科学講座オープンカレッジ)		http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html
名古屋市立大学 学びなおし支援センター		http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/
明治大学 大学院理工学研究科新領域創造専攻 安全学研究所 リバティアカデミー		http://www.meiji.ac.jp/sst/grad/ http://academy.meiji.jp/ccs/index.html
福山大学 社会連携研究推進センター		http://www.fukuyama-u.ac.jp/rcosr/index.html
国際協力機構兵庫国際センター		http://www.jica.go.jp/hyogo/
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部		http://www.sci.waseda.ac.jp/global/faculty/advanced/index.html
早稲田大学 理工学術院 大学院先進理工学研究科		http://www.sci.waseda.ac.jp/global/faculty/advanced/index.html
早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻		http://www.healthscience.sci.waseda.ac.jp/
早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻		http://www.jointbiomed.sci.waseda.ac.jp/
明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻		http://www.meiji.ac.jp/sst/nac/
お茶の水女子大学		http://www.ocha.ac.jp/
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科		http://www.dc.ocha.ac.jp/index.html
東京工業大学 工学部 高分子工学科		http://www.op.titech.ac.jp/polymer/index.htm
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻		http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm
福山大学大学院 工学研究科生命工学専攻		http://www.fukuyama-u.ac.jp/life/grad/index.html

2010年7月6日現在 合計 32 機関

添付表 2 2010 年度連携機関一覧

専門機関	国立感染症研究所	http://www.nih.go.jp/niid/index.html	
	製品評価技術基盤機構(NITE)	http://www.nite.go.jp/	
	食品薬品安全センター(FDSC)	http://www.fdsc.or.jp/	
	農業生物資源研究所(NIAS)	http://www.nias.affrc.go.jp/	
	労働科学研究所	http://www.isl.or.jp/top.html	
	物質・材料研究機構(NIMS)	http://www.nims.go.jp/	
	鳥取県動物臨床医学研究所	http://www.dourinken.com/	
	国際協力機構兵庫国際センター	http://www.jica.go.jp/hyogo/	
非営利団体 (NGO/NPO)	日本獣医師会	http://nichiju.lin.go.jp/index.php	
	日本リスクマネージャネットワーク	http://www.jrmn.net/	
	放射線安全フォーラム	http://www.rsf.or.jp/index.htm	
産業界	ナノテクノロジービジネス推進協議会	http://www.nbcj.jp	
	化学工学会SCE・Net	http://www.sce-net.jp/	
大学	お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター (増田研究室)	http://www.chinoichiba.org/masuda.html	
	明治薬科大学	http://www.my-pharm.ac.jp/	
	東北大学未来科学技術共同研究センター	http://www.niche.tohoku.ac.jp/	
	名古屋市立大学 大学院 医学研究科	http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html	
	産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科	http://toppy.health.uoeh-u.ac.jp/ReEdu/index.html	
	明治大学 大学院理工学研究科新領域創造専攻	http://www.meiji.ac.jp/sst/grad/	
	福山大学 社会連携研究推進センター	http://www.fukuyama-u.ac.jp/rcosr/index.html	
	名古屋市立大学 学びなおし支援センター	http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/indexJ.htm	
	早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	http://www.sci.waseda.ac.jp/global/faculty/advanced/index.html	
	早稲田大学 理工学術院 大学院先進理工学研究科	http://www.sci.waseda.ac.jp/global/faculty/advanced/index.html	
	早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻	http://www.healthscience.sci.waseda.ac.jp/	
	早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻	http://www.jointbiomed.sci.waseda.ac.jp/	
	お茶の水女子大学	http://www.ocha.ac.jp/	
	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	http://www.dc.ocha.ac.jp/index.html	
	東京工業大学 工学部 高分子工学科	http://www.op.titech.ac.jp/polymer/index.htm	
	東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻	http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm	
	福山大学大学院 工学研究科生命工学専攻	http://www.fukuyama-u.ac.jp/life/grad/index.html	
	学会	化学生物総合管理学会	http://www.cbims.net/index.html
		社会技術革新学会	http://www.s-innovation.org/
日本環境動物昆虫学会		http://wwwsoc.nii.ac.jp/kandoukon/index.html	
ブレインサイエンス研究会		http://www.brain.kyutech.ac.jp/~natume/brainscience/	

2010 年 7 月 6 日現在 合計 34 機関

添付表3：2010年度 知の市場協議会構成員一覧

	委員名(敬称略)	開講機関・連携機関
開講機関	竹山 春子、寺原 猛	早稲田大学 規範科学総合研究所 早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻 早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻
	宮崎 隆介、数瀬 明美	日本リスクマネージャネットワーク
	林 正秀、平田 一郎	ナノテクノロジービジネス推進協議会
	若月 壽子	主婦連合会
	小島 幸一、大島 赳夫	食品薬品安全センター
	田部井 豊、石川 達夫	農業生物資源研究所
	酒井 一博、北島 洋樹	労働科学研究所
	鈴木 正昭、石川 孝子	東京工業大学 社会人教育院
	中嶋 稚子	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室) 社会技術革新学会
	黒澤 景、佐藤哲治	物質・材料研究機構
	山崎 徹	化学工学会 SCE・Net
	山根 義久	鳥取県動物臨床医学研究所
	川上 景一、長田 敏	製品評価技術基盤機構
	渡邊 英一	東北大学 未来科学技術共同研究センター
	福田 達也	放射線安全フォーラム
	保利 一、庄司 卓郎	産業医科大学 産業保健学部 環境マネジメント学科
	津田 洋幸	名古屋市立大学大学院 医学研究科(健康科学講座オープンカレッジ) 名古屋市立大学 学びなおし支援センター
	向殿 政男	明治大学大学院 理工学研究科新領域創造専攻 明治大学 安全学研究所 明治大学リバティアカデミー
	菊田 安至	福山大学 社会連携研究推進センター 福山大学 工学研究科 生命工学専攻
大川 秀郎	国際協力機構兵庫国際センター、 化学生物総合管理学会	
連携機関	渡邊 治雄	国立感染症研究所
	神田 尚俊	日本獣医師会
	戸田 英作	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)
	山田 晴信	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター(増田研究室)
	上村 尚	明治薬科大学
	岸田 文雄	化学生物総合管理学会
	横山 泰一	化学生物総合管理学会
	須藤 繁	社会技術革新学会
	中村 雅美	社会技術革新学会
	安部 八洲男	日本環境動物昆虫学会
	笛田 由紀子	ブレインサイエンス研究会
	窪田 葉子	化学生物総合管理学会、知の市場事務局
	増田 優	知の市場協議会 議長 早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 早稲田大学 理工学術院 大学院先進理工学研究科 明治大学大学院 理工学研究科 お茶の水女子大学 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科東京工業大学 工学部 高分子工学科 東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻
	阿南 忠明	知の市場事務局

2010年7月6日 合計34機関

注 1) 2名連名の場合は後者が代理委員

2) 開講機関・連携機関両方の代表である場合は、開講機関の欄に記載

添付表4：2010年度評価委員会構成員一覧

委員名(敬称略)	所 属 機 関	
大川原 正明	大川原化工機	社長
大久保 明子	住友ベークライト	S-バイオ開発部
太田口 和久	東京工業大学 社会技術革新学会	教授 編集委員長
梶山 千里	日本学生支援機構	理事長(前 九州大学総長)
倉田 毅	富山県衛生研究所	所長(前 国立感染症研究所所長)
小出 重幸	読売新聞社	編集委員
白井 克彦	早稲田大学	総長
高橋 俊彦	JSR	環境安全部
辻 篤子	朝日新聞社	論説委員
中島 幹	綜研化学	会長
西野 仁雄	名古屋市立大学	前 学長
橋都 なほみ	じほう	編集主幹
板東 久美子	文部科学省	文部科学省生涯学習政策局長
日和佐 信子	雪印乳業	社外取締役(元消費者団体連絡会事務局長)
三浦 千明	元 ライオン	
山本 佳世子	日刊工業新聞社	編集委員

2010年7月6日現在 合計16名

注:評価委員は個人の資格で評価委員会に参画し、個人としての見識に基づいて意見を述べる。

添付表 5 協力機関一覧

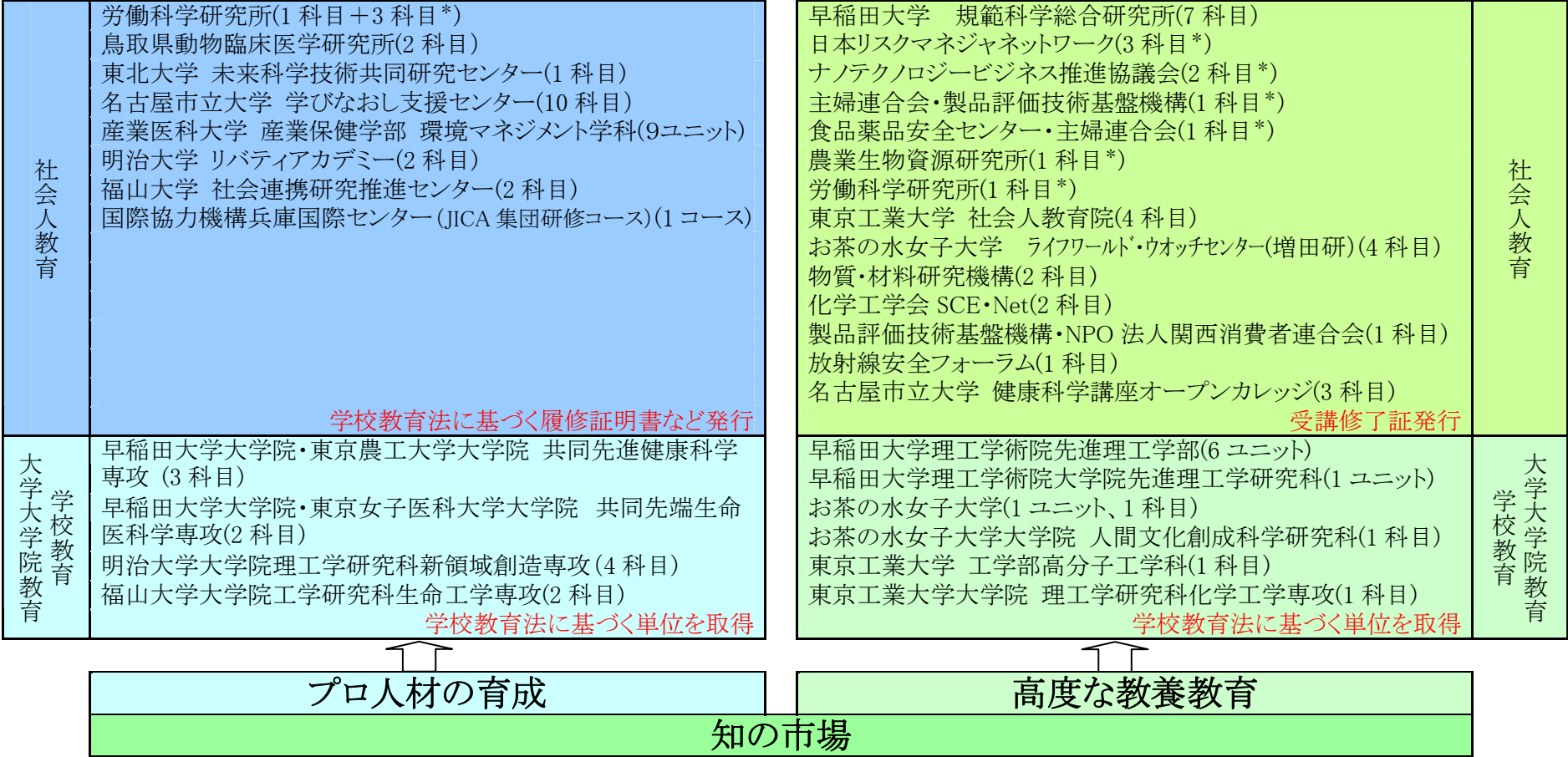
分類	協力機関	アドレス	協力・支援内容
専門機関 研究機関	東京食育推進ネットワーク事務局	http://www.maff.go.jp/kanto/chiikin/et/tokyo/tokyo_syokuiku_network.html	広報支援*1
	ナノテクジャパン	http://nanonet.mext.go.jp/	広報支援*1, 2
	日本植物防疫協会	http://www.jpfa.or.jp/	広報支援*1
	未踏科学技術協会ナノ粒子研究会	http://www.snnt.or.jp/nano/index.html	広報支援*1
	早稲田総研インターナショナル	http://www.w-int.jp/	全国配信支援
非営利団体 (NGO/NPO)	桜蔭会	http://www008.upp.so-net.ne.jp/ouinkai/	広報支援*1
	桜化会 OUCA	http://www.chem.ocha.ac.jp/~ouca/	広報支援*1
	教育研究機関化学物質管理ネットワーク	http://www.kyokanet.jp/	リンク
	作楽会	http://www.ocha-sakurakai.org/index.html	広報支援*1
	日本実験動物技術者協会	http://www.jaeat.org	広報支援*1
	日本生活協同組合連合会	http://jccu.coop/	広報支援*2
	日本同伴犬協会	http://www.dogside.org/html/jcda.html	広報支援*2
	日本動物福祉協会	http://www.jaws.or.jp/	広報支援*1
産業界	イカリ消毒株式会社	http://www.ikari.jp/column/c1_gaicyu.html	広報支援*1
	久山獣医科病院	http://www.kuyama-vet.com/	広報支援*1
	生物化学的測定研究会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/icsj/	広報支援*1
	ナノテクノロジービジネス推進協議会	http://www.nbcj.jp/	広報支援*1, 2
	日本酸化チタン工業会	http://www.sankatitan.org/	広報支援*2
	日本土木工業協会	http://www.dokokyo.or.jp/top/index.html	広報支援*1
	日本ファインセラミックスセンター	http://www.jfcc.or.jp/	広報支援*2
	日本粉体工業技術協会	http://www.appie.or.jp:	広報支援*1
	日本ペストコントロール協会	http://www.pestcontrol.or.jp	広報支援*1
	日本無機薬品協会	http://www.mukiyakukyo.gr.jp/profile/com.htm	広報支援*1
	農薬工業会	http://www.jcpa.or.jp/	広報支援*2
学会	安全性評価研究会	http://www.tanigaku.gr.jp/	広報支援*2
	環境経済・政策学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/seeps/	広報支援*2
	植物化学調節学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/cgi-bin/jscrip/index.cgi	広報支援*1
	ナノ学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/snano/	広報支援*1
	日本応用動物昆虫学会	http://odokon.org/	広報支援*1
	日本家屋害虫学会	http://www.kaokugaichu.jp/	広報支援*1
	日本産業衛生学会	http://www.sanei.or.jp/	広報支援*1
	日本植物病理学会	http://www.ppsj.org/	広報支援*1
	日本トキシコロジー学会	http://www.jsot.gr.jp/index.html	リンク
	日本毒性病理学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jstp3/	広報支援*1
	日本農芸化学会	http://www.jsbba.or.jp/	広報支援*1
	日本農薬学会	http://wwwsoc.nii.ac.jp/pssj2/	広報支援*1
	日本リスク研究学会	http://www.sra-japan.jp/cms/	広報支援*1
バイオインダストリー協会	http://www.jba.or.jp/	広報支援*2	

*1:HP への掲載実施、*2:会員へのメール連絡実施

2010年7月6日現在 38機関

知の市場の構造

— 講座の位置 —



* 早稲田大学規範科学総合研究所との共催科目